市民の声

市政に思う

最終回

「市民の声」は、シリーズ物として４町の各団体にお願いして、市政等に対しての思いを書いていただきました。
ご協力ありがとうございました。
議会広報特別委員会

協働のまちづくりについて

大柿町大古区民会
会長　中元　仁士

厳しい財政事情で行財政改革が行われ、住民の負担増とサービスの低下が余儀なくされている。

そこで、市と住民の協働のまちづくりが求められている。この協働のまちづくりを進めるためには市の事業や財政状況を市民にしっかり説明し、市民の理解と協力を得ることが不可欠である。市では色々の情報を公開されているが、文言が難しく市民にしっかり伝わっていない面がある。誰にでもわかりやすい説明を心がけ理解してもらうことが大切である。市民も理解すれば市との信頼と協力の関係ができ、意識改革につながり協働の気運が生まれ成果が出ると思う。

次に協働のまちづくりには、各地域の独自性とふるさと意識を尊重して進めるべきと思う。このためには行政と市民の間に立ってお互いの意思の疎通を図ったりする役割が必要である。

これには、地域の身近な支所に人材と権限が欠かせない。職員は行政のプロである。まちづくりもリードする。下支えもする仕掛け人として職員も地域の活動に積極的に参画し一緒になって住民との対話を深め、実態を肌身に感じて地域の課題も共有する。これに市民の柔軟な発想や新鮮なアイデアが加われば、地域密着の魅力あるまちづくりの方向に進むと思う。ここに行政と市民のつながりができ、環境（体制）も整えることが出来る。

財政の支援だけでなく行政がどれだけの思いで地域をサポートするかが成功の鍵と思う。

『誰にでもわかりやすい説明を心がけ理解してもらうことが大切である』

私の大切なもの

三高小学校ＰＴＡ
会長　山口雄一朗

私が三高に引越しして来て８年になります。妻の里ではあったのですが、私自身、知人は一人もいませんでした。でも三高の人はあたたかく、地元出身者のように私を受け入れてくれました。

三高は、保育園・小学校・中学校と子どもが学ぶには最適な場所だと思います。

この春、次男も三高中学校に入学しますが、ご存知の通り少人数校です。確かに少人数校のデメリットはあります。しかし、少人数校だからこそ出来るメリットも数多くあります。それはキメの細かい教育で、質の高い指導をしていただくことです。

また、校舎は市内でも比較的新しい方ですし、まだまだ十分使用できます。さらに保・小・中の生徒の交流もさかんに行われています。合同運動会、中学生徒の演奏による小中交流会、保育園への訪問授業など学校が地域にとってどんなに大きな役割を果たしてきたか、身をもって強く感じています。子ども達の成長を育む環境をこれからも大切にしていきたいです。

老人クラブでの思い

能美町老人クラブ連合会
会長　本﨑　保

高田老人クラブの会長となって十年になります。当初400人位いた会員が現在は、300人となっています。その間、亡くなられた方、新しく会員になられた方を考えても平均一年に10人ずつ減ったことになります。今後十年・二十年後を考えるといささか淋しくなってきます。しかし、市行政におかれましては、苦しい財政事情でありながら、私たち老人クラブに対して温かいご理解とご支援をいただき有難く思っています。

でも、「合併して良いことは一つもない。」との声は多く聞きますが、これは江田島市に限ったことではないと思います。平成の大合併によって、住民は、それぞれ合併後に期待して「私たちに新たに何をしてくれるだろうか。」と思っていたからではないでしょうか。

かって、ケネディ大統領が国民に向かっての就任演説の中で、「新しい政府は私たちに何をしてくれるか。と期待するだけでなく、国に対して私たちは何ができるか。真剣に考えてほしい。」という意味のことを言われたことを思い出します。

今、日本は、国をはじめとして都道府県・市町村に至るまで財政難に苦慮しています。でも、長寿国日本で、今私たちは、先祖や亡き父母が経験できなかった豊かなくらしをしています。

高田老人クラブは、高田港周辺の美化作業を始めて十余年、一人ではできない、数人でも難しい。多くの会員の連携によってこそ可能である。社会に役立っていると言う誇りをもって、笑顔で今年もみんなと一緒に頑張っていこうと思っています。

「市民の声」最終にあたり

「市民の声」は、シリーズ物として、４町の各種団体の会長さんにお願いしましたが、今回が最後となりました。原稿を依頼したところ、心よくお受けして下さったことに厚く感謝申し上げます。

江田島市を愛する各方面の方々が、悩み心配し又希望を持って頑張っておられる姿に、感銘を受けました。

今回発行の議会だより「市民の声」の原稿は、平成20年３月現在の会長さんにお願いしました。

各種団体の益々の御発展を、祈念いたします。ありがとうございました。

議会広報特別委員会
一同